

公益財団法人臨床薬理研究振興財団 平成 28 年度（第 41 期）事業報告

平成 27 年度 第 3 回理事会(平成 28 年 2 月 10 日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 平成 28 年度(第 41 回)研究奨励金等の交付 (定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号)

(1) 研究奨励金

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 20件程度
（内 特別研究奨励金 1件を含む）
- ・ 交付金額
20件 各200万円、内 1件は特別研究奨励金200万円と併せて400万円
- ・ 募集期間 平成28年6月20日～8月31日
- ・ 応募件数 109件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 平成28年6月1日
- ・ 選考委員による申請書の評価 平成28年9月2日～10月3日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成28年10月18日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 平成28年度第2回理事会にて決定 平成28年11月15日
- ・ 決定通知 平成28年11月17日
- ・ 交付対象件数 20件、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 4,200万円（各200万円）
特別研究奨励金 1件200万円を含む
- ・ 贈呈証書授与完了 平成29年1月20日
- ・ 交付完了 平成29年2月2日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

- ・ 募集人数（推薦） 2名以内
- ・ 交付金額 2件 各 350万円/年、原則2年間交付
- ・ 推薦期間 平成28年6月20日～8月31日
- ・ 推薦件数 7件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（推薦方法等の審議） 平成28年6月1日
- ・ 選考委員による申請書の評価 平成28年9月2日～10月3日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成28年10月18日
- ・ 交付対象者候補の面接実施 平成28年11月7日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 平成28年度第2回理事会にて決定 平成28年11月15日
- ・ 決定通知 平成28年11月17日
- ・ 交付対象者 2名、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 700万円（各350万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 平成28年12月16日
- ・ 交付完了 平成29年2月2日

◆平成 27 年度交付対象者への継続交付

- ・ 交付対象者数及び金額 2名、700万円

(3) 国際共同研究助成金

- ◆募集内容 平成 27 年度より募集を休止
- ◆平成 26 年度交付対象者(平成 27 年 8 月に来日)への研究助成金交付
1 名、65 万円(平成 28 年 5 月～平成 28 年 7 月の滞在費、帰国渡航費)

2. 第 27 回(平成 28 年度)臨床薬理研究振興財団賞の贈呈 (定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 3 号)

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次の通り交付した。

- ◆募集内容
 - ・ 募集件数 学術奨励賞 1 件
学術論文賞 3 件
 - ・ 募集期間 平成28年4月20日～6月13日
 - ・ 応募件数 学術奨励賞 7 件
学術論文賞 22 件
- ◆選考経過
 - ・ 第1回選考委員会開催(募集方法等の審議) 平成28年2月21日
 - ・ 選考委員による申請書の評価 平成28年7月15日～8月22日
 - ・ 第2回選考委員会開催(交付対象者候補の選考) 平成28年9月11日
- ◆交付対象者の決定、授与式及び交付
 - ・ 日本臨床薬理学会理事会にて承認(書面) 平成28年9月11日
 - ・ 平成28年度第2回理事会にて決定 平成28年11月15日
 - ・ 交付対象件数 4件、附属明細書-2に掲載
 - ・ 交付金額 学術奨励賞 1 件 300万円
学術論文賞 3 件 150万円(各50万円)
 - ・ 授与式(第37回日本臨床薬理学会学術総会、米子) 平成28年12月2日
 - ・ 交付完了 平成28年12月19日

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊 (定款 第 4 条第 1 項第 5 号)

(1) No. 37の編集・発刊

平成 28 年 4 月 4 日に編集会議を開催し、次の通り実施した。

- ・ 掲載論文 附属明細書-3に掲載

研究奨励金交付論文(平成 25 年度)	20 編
研究奨励金交付論文(平成 24 年度)	1 編
海外留学助成金報告	1 編
計	22 編

- ・ 発刊日 平成28年6月20日
- ・ 配布先 大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長など 86冊
大学薬学部長、薬科大学長、大学研究所長など 122冊
大学歯学部長 27冊
大学医学系、薬学系主要講座など 631冊
附属病院長その他主要病院長 348冊
財団役員、評議員、選考委員 他 67冊
交付者 117冊
図書館 52冊
その他助成財団、会社関係他 134冊
計 1,584冊

(2) No. 38の発刊準備

編集会議（平成 29 年 4 月 8 日）に向け、研究奨励金交付論文等の執筆及び校正を依頼した。

・掲載論文

研究奨励金交付論文（平成 26 年度）	19 編
国際共同研究助成金報告	1 編
海外留学助成金報告	2 編
計	22 編

・発刊予定年月

平成29年6月

4. 第 9 回研究報告会の開催（定款 第 4 条第 1 項第 5 号）

臨床薬理研究振興財団研究大賞（以下「研究大賞」という。）の受賞者等による臨床薬理研究振興財団研究報告会（以下「研究報告会」という。）を次の通り実施した。

- ・日 時：平成 28 年 11 月 15 日（火）15 時 30 分～19 時 20 分
- ・場 所：経団連会館（東京都千代田区大手町 1 丁目 3-2）
- ・参加者：74 名
- ・プログラム：附属明細書-4 に掲載

〈第 1 部〉 研究大賞表彰式

挨拶	理事長	中山 讓治
選考経過報告	理事	岡 希太郎
表彰式	理事長	中山 讓治

〈第 2 部〉 研究報告会 座長

理事	戸塚 恭一
理事	野村 隆英

演者 研究大賞受賞者 4 名
海外留学修了者 2 名

閉会に当たって 評議員 猿田 享男

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に平成 20 年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。本年度は、第 9 回研究大賞として、平成 25 年度研究奨励金交付論文 20 編の中から 5 編を編集会議（平成 28 年 4 月 4 日）において厳正に審査の上で選考した。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第 4 条第 1 項第 4 号）

第 1 回（平成 28 年度）臨床薬理学集中講座（以下「集中講座」という。）を平成 28 年 8 月 5 日～7 日に出捐会社研修所 NEXUS HAYAMA で開講し、医師 14 名、薬剤師 22 名 合計 36 名が参加した。本集中講座は、若手医師・薬剤師が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

- 1) 開催日：平成 28 年 5 月 31 日
議事：第 1 回集中講座の受講者の選考
- 2) 開催日：平成 28 年 11 月 15 日

議事： 第1回集中講座の実施結果検証・反省

3) 開催日： 平成29年1月24日

議事： 第2回集中講座の実施概要検討

臨床試験企画立案演習チーム会

開催日： 平成28年6月20日

議事： 演習のテーマ検討、受講者の演習グループ班分け

開講結果が好評であったため、平成28年度第2回理事会にて、第2回(平成29年度)集中講座開講の方向で合意された。第1回及び第2回集中講座の結果を踏まえて、3回目以降の集中講座開講頻度の検討を行うこととした。第2回集中講座開講については、平成29年度事業計画に組み込まれ、平成28年度第3回理事会にて承認された。

6. 附属明細書

【附属明細書—1】

平成28年度（第41回）研究奨励金・海外留学助成金交付対象者

◆研究奨励金 20件（1件200万円交付、特別研究奨励金1件200万円を含む）（50音順 敬称略）

氏名	所属機関	研究テーマ
赤羽 弘資	山梨大学医学域 小児科	ALLの抗がん剤耐性に関するGWAS解析
梅村 将就	横浜市立大学医学部医学研究科 循環制御医学	市販医薬品磁性化の臨床応用
☆ 岡本(内田)好海	国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部	解熱鎮痛薬誘発性重症薬疹発症予測系の構築
鬼木 健太郎	熊本大学大学院 生命科学研究部 薬物治療学分野	DsbA-L遺伝子を標的とした糖尿病治療
加藤 元博	国立成育医療研究センター 小児がんセンター/小児血液・腫瘍研究部	白血病の維持療法最適化のための多型解析
窪田 敏夫	九州大学大学院薬学研究院 臨床育薬学分野	レボドパと酸化マグネシウムの相互作用解明
佐藤 洋美	千葉大学大学院薬学研究院 先端実践薬学講座 臨床薬理学研究室	複数の代謝酵素分子種による相互作用の予測
島本 裕子	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 薬剤部	病態モデルに基づく薬物個別化投与法の検討
末原 義之	順天堂大学医学部 整形外科	「希少癌」軟部肉腫の新規治療法開発
立川 正憲	東北大学大学院 薬学研究科 薬物送達学分野	治療抗体モニタリングの基盤構築
田中 紫菜子	静岡県立大学 薬学部 実践薬学分野	サブマイクロドーズカクテル試験の確立
田中 将志	京都医療センター 臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部	糖尿病合併認知症の評価系・治療戦略開発
辻 大樹	静岡県立大学薬学部 臨床薬効解析学分野	膀胱癌治療の個別化に関する多施設共同研究
永井 利幸	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門	急性心不全におけるhANPの無作為化臨床試験
中島 振一郎	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室	グルタミン酸仮説に基づく治療抵抗性統合失調症の病態の解明
中島 葉子	藤田保健衛生大学医学部 小児科学	5FU系抗癌剤の代謝スクリーニング
西田 純幸	大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学講座	CpG-ODN(K3)を用いた新規がん免疫療法の開発
西田 基宏	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター (生理学研究所) 心循環シグナル研究部門	新規ミトコンドリア分裂阻害薬の開発
藤田 大司	自治医科大学医学部 薬理学講座臨床薬理学部門	急性大動脈解離の新しい薬物治療法の開発
古田 俊介	千葉大学大学院医学研究院 グローバル臨床試験学	関節リウマチのトファシチニブ単剤投与試験

☆：特別研究奨励金200万円と併せて400万円交付

◆海外留学助成金 2名（1件350万円/年）

（50音順 敬称略）

氏名	所属機関	留学先施設(国)	期間	研究テーマ
山田 孝明	九州大学病院 薬剤部	シンシナティ小児病院医療センター (アメリカ)	1年	小児薬物療法における個別化投与法の開発
吉田 和生	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室	トロント大学付属 依存症・精神保健センター(カナダ)	2年	抗精神病薬誘発性体重増加に関する ゲノム薬理学研究

【附属明細書—2】

第 27 回（平成 28 年度）臨床薬理研究振興財団賞

（学術奨励賞 1 件: 300 万円、学術論文賞 3 件: 150 万円(各 50 万円)）

（敬称略）

	氏 名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル (掲載誌)
学術奨励賞 (研究奨励金： 300 万円)	楠原 洋之	東京大学大学院 薬学系研究科	トランスポーターの分子基盤に基づいた 臨床薬物動態学研究
学術論文賞 (副賞:各 50 万 円)	長沼美代子	東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター	Clinical Outcomes and Anticoagulant Intensity in Japanese Nonvalvular Atrial Fibrillation Patients ≥ 65 Years of Age with a CHADS ₂ Score 0-1 and Taking Warfarin. <i>臨床薬理, 46(4), 191-197.</i>
	米納 誠	(医) 相生会にしくまもと病院 臨床薬理センター	Urodynamic Measurement of Urethral Closure Function in Women with Stress Urinary Incontinence: A Randomized, Double-Blind, Single-Dose, Two-Period Crossover Study of Duloxetine. <i>臨床薬理, 46(6), 259-264.</i>
	高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部	NPC1L1 is a key regulator of intestinal vitamin K absorption and a modulator of warfarin therapy. <i>Science Translational Medicine 7: 275ra23.</i>

【附属明細書—3】

研究報告集「臨床薬理の進歩」No.37 掲載論文

平成 25 年度 研究奨励金交付論文 20 編

(敬称略、掲載順)

氏名	所属機関	論文タイトル
高橋 史行	順天堂大学 医学部 呼吸器内科学講座	上皮間葉転換(EMT)を標的とした新規の特発性肺線維症治療薬の開発
池田 華子	京都大学医学部附属病院 眼科	VCP モジュレータを用いた難治眼疾患に対する新規治療法開発
野尻 崇	国立循環器病研究センター研究所 生化学部	ANP の血管保護作用による癌転移抑制効果の発見
小澤 拓也	新潟大学医歯学総合病院 循環器内科	冠動脈疾患患者に対する骨粗鬆症薬による冠動脈石灰化の抑制試験
中神 啓徳	大阪大学大学院連合小児発達学研究所 健康発達医学寄附講座	新規機能性ペプチドを用いた皮膚潰瘍外用薬の開発
前佛 均	国立がん研究センター研究所 遺伝医学研究分野	Genotype 情報を用いた乳がんオーダーメイド内分泌治療のための 多施設共同前向き臨床研究
西川 典子	愛媛大学大学院医学系研究科 薬物療法・神経内科学	脳神経疾患の治療バイオマーカーとしての髄液中ネオプテリンと 候補物質の網羅的探索研究
鈴川 真穂	国立病院機構東京病院 呼吸器内科 臨床研究部	気管支喘息を対象とした抗 IgE 抗体による気道リモデリング制御の可能性
牛島健太郎	自治医科大学医学部 薬理学講座臨床薬理学部門	MTX 治療反応性の予測マーカーとしての赤血球中 MTX ポリグルタメートの 有用性の検討
三浦 昌朋	秋田大学医学部附属病院 薬剤部	多発性骨髄腫患者に対するレナリドミドの個別化療法の確立
藤 秀人	富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 医療薬学研究室	メトトレキサートの抗リウマチ効果向上を指向したトランスレーショナルリサーチ
八木 達也	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	集中治療患者における血中デクスメタドミジン濃度と臨床効果・有害作用との 関係
吉原 達也	九州大学大学院医学研究院 臨床薬理学分野	アトルバスタチンの硝酸薬投与後血管内皮機能改善効果に及ぼす ALDH2*2 の影響
小田切圭一	浜松医科大学医学部 臨床薬理学講座	チトクローム P450 フェノタイプが薬物による酵素誘導/阻害の程度に及ぼす 影響の検討
秋好 健志	慶應義塾大学 薬学部 臨床薬学講座	P450 を介した薬物相互作用に個人差をもたらす遺伝的要因の定量的解明と 予測
寺尾知可史	京都大学大学院医学研究科附属 ゲノム医学センター	抗甲状腺薬による無顆粒球症の HLA 領域多型決定による予測と回避のため の研究
池末 裕明	九州大学病院 薬剤部	がん骨転移治療薬デノスマブによる低カルシウム血症の発現時期と危険因子
岩本 卓也	三重大学医学部附属病院 薬剤部	リンパ球の免疫応答性を指標とした腎移植の免疫抑制療法の評価
藤原 豊	国立がん研究センター 呼吸器内科	クリゾチニブの薬物動態および毒性と遺伝子多型の多施設共同研究
花田 和彦	明治薬科大学 薬剤学教室	人工膝関節置換術施行患者に使用する抗凝固薬の個別化投与法の確立

平成 24 年度 研究奨励金交付論文 1 編

三浦 裕司	虎の門病院 臨床腫瘍科	TDM によるアキシチニブの個別化投与を目指した PK/PD 研究
-------	-------------	-----------------------------------

海外留学助成金報告 1 編

米盛 勸	研究開発法人国立がん研究センター 先進医療評価室	National Cancer Institute/National Institutes of Health と US Food and Drug Administration 留学記
------	-----------------------------	--

【附属明細書—4】

第9回研究報告会

日時：平成28年11月15日（火） 15:30～19:20

場所：経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

第1部 臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式（15:30～16:00）

挨拶	理事長	中山 讓治
選考経過報告	東京薬科大学 名誉教授	岡 希太郎 先生
表彰式		

第2部 研究報告会（16:10～18:10）

【研究報告】

座長	東京女子医科大学 名誉教授	戸塚 恭一 先生
	藤田保健衛生大学 名誉教授	野村 隆英 先生

MTX 治療反応性の予測マーカーとして赤血球中 MTX ポリグルタメートの有用性の検討
自治医科大学医学部 薬理学講座 臨床薬理学部門 牛島 健太郎 先生

メトトレキサートの抗リウマチ効果向上を指向したトランスレーショナルリサーチ
富山大学大学院 医学薬学研究部(薬学) 医療薬学研究室 藤 秀人 先生

ANP の血管保護作用による癌転移抑制効果の発見
国立循環器病研究センター研究所 生化学部 野尻 崇 先生

アトルバスタチンの硝酸薬投与後血管内皮機能改善効果に及ぼす ALDH2*2 の影響
九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学分野 吉原 達也 先生
(現 福岡みらい病院 臨床研究センター)

【留学報告】

カリフォルニア大学アーバイン校留学記
東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学講座 東 浩太郎 先生
(現 東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム)

ハイデルベルク大学病院留学記
大分大学医部附属病院 薬剤部 鈴木 陽介 先生

【閉会にあたって】 慶應義塾大学 名誉教授 猿田 享男 先生

第3部 情報交換会（18:20～19:20）

出捐者代表挨拶	第一三共株式会社 代表取締役副社長	廣川 和憲 殿
---------	-------------------	---------

8. 平成 28 年度のあゆみ

- 平成 28 年 4 月 1 日 第 1 回臨床薬理学集中講座募集開始
4 月 4 日 編集会議開催 (クラブ関東)
20 日 第一三共株式会社から寄附金 1 億円受領
22 日 第 1 回臨床薬理学集中講座募集締切り
5 月 11 日 決算監査実施
17 日 平成 28 年度 第 1 回理事会開催(経団連会館)
31 日 第 3 回臨床薬理学集中講座実行委員会開催(クラブ関東)
6 月 1 日 平成 28 年度 第 1 回選考委員会開催(クラブ関東)
2 日 平成 28 年度 定時評議員会開催(経団連会館)
2 日 臨時理事会 (理事会の決議の省略の方法による)
8 日 平成 27 年度(第 40 期)決算報告書を日本橋税務署に提出
8 日 都民税免除申請書添付書類を東京都中央都税事務所に提出
20 日 研究奨励金募集案内及び募集要項発送 (665 通)
20 日 海外留学助成金の推薦要項発送 (46 通)
20 日 研究報告集「臨床薬理の進歩」No.37 発刊
23 日 第 8 回研究大賞についてプレスリリース
23 日 平成 27 年度の事業報告等に係る提出書類を内閣府に提出
7 月 2 日 理事・評議員及び代表理事変更登記
7 月 5 日 理事等変更届出書を内閣府に届出
8 月 5~7 日 第 1 回(平成 28 年度)臨床薬理学集中講座開講 (NEXUS HAYAMA)
8 月 31 日 研究奨励金及び海外留学助成金等募集締切り
9 月 2 日 選考委員に申請書の評価依頼
11 日 第 27 回(平成 28 年度)財団賞 第 2 回選考委員会開催(日本臨床薬理学会事務所)
10 月 3 日 選考委員による申請書の評価終了
18 日 平成 28 年度 第 2 回選考委員会開催(クラブ関東)
11 月 7 日 海外留学助成金交付対象者候補の面接実施(財団事務所)
15 日 第 4 回臨床薬理学集中講座実行委員会開催(経団連会館)
15 日 平成 28 年度 第 2 回理事会開催(経団連会館)
15 日 第 9 回研究報告会開催 (経団連会館)
17 日 応募者宛採否通知の発送
17 日 理事・評議員・選考委員等宛交付対象者決定通知の発送
21 日 大学・大病院宛交付対象者決定通知の発送
12 月 2 日 第 27 回(平成 28 年度)財団賞授与(第 37 回日本臨床薬理学会学術総会、米子)
16 日 財団賞研究奨励金等交付完了
平成 29 年 1 月 20 日 研究奨励金・海外留学助成金贈呈証書授与完了
24 日 第 5 回臨床薬理学集中講座実行委員会開催(ステーションコンファレンス)
2 月 2 日 研究奨励金・海外留学助成金交付完了
2 月 8 日 平成 28 年度 第 3 回理事会開催 (経団連会館)
3 月 1 日 第 2 回(平成 29 年度)臨床薬理学集中講座募集開始
3 日 平成 29 年度事業計画及び収支予算書を内閣府に提出
26 日 第 28 回(平成 29 年度)財団賞 第 1 回選考委員会開催(日本臨床薬理学会事務所)